

## 「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」 災害国際協力セミナーを実施しました (2019/11/4, 11/10)

テーマ：災害時の国際協力、第2回世界防災フォーラム  
 場所：東北大学災害科学国際研究所、仙台国際センター（宮城県仙台市）

2019年11月4日（月・祝）、宮城県仙台市の災害科学国際研究所で「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害国際協力セミナーを実施しました。プログラム履修生17名が受講しました。

災害国際協力セミナーは、国外の災害時における災害支援や防災への取り組みなど、国際協力活動に関する知識や経験を座学形式で学ぶセミナーです。泉貴子 准教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）、小美野剛 氏（CWS JAPAN）、斉藤之弥 氏（日本赤十字社）から世界各国で発生する災害、紛争等の概要や支援対応する国連機関、NPO、国際赤十字・赤新月社連盟の活動について幅広く講義を受けました。

またセミナー研修の一環として、2019年11月10日（日）に宮城県仙台市の仙台国際センターで開催された第2回世界防災フォーラムにも参加しました。履修生は普段あまり接することのない医療以外の防災・減災への取り組み、世界各国からの研究者、実践者らの活動を見聞きし、国際的・総合的な防災への視野を広げました。

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」では年間を通じ、災害保健医療に関するさまざまな講演、実習を実施しています。佐々木宏之 准教授（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）はプログラム運営企画委員会委員・実習コーディネーターを務めており、研修では会場責任者、講師として運営に携わっています。今回は、11月16日（土）、17日（日）にロジスティックサポート実習（災害医療救護通信エキスパート研修）が予定されています。

年間の講義予定は「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」HP (<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp/curriculum/entry/>)に掲載されており、オープン参加として履修生以外の参加も受け付けています。



11/4 災害国際協力セミナー



講義する泉貴子 准教授



CWS JAPAN 小美野剛 氏



11/10 WBF 開会式に参加



災害研企画セッションに参加



同時通訳機器を耳に  
聴講する履修生